

# ほんがいっぱい



## よんでみよう!

### 1・2年生のための本

### ③『アレハンドロの大旅行』

きたむらえり／さく・え ふくいんかんしょてん 福音館書店《AFキ》

アレハンドロのかぞくはおしゃべりがだいすき。でもアレハンドロだけは、なにも話さないおとなしい子でした。しんぱいしたおとうさんとおかあさんは、アレハンドロにひとり旅をさせることに。さあ、話せるようになるかな？



### ④『ウォーリーと16人のギャング』

リチャード・ケネディ／ぶん マーク・シーモント／え こみやゆう 小宮由／やく だいにっほんとしよ 大日本図書《AFケ》

すなぼこりがたつ小さな町にやってきたのは、大人もこわがる16人のギャングたち。いっぼう、かれらにしょうぶをいどむのは、ちびっこウォーリーただひとり！ウォーリーはギャングたちをおいはらうことができるのでしょうか？



### ⑤『クリスティーナとおおきなほこ』

パトリシア・リー・ゴーチ／作 さく ドリス・バーン／絵 え おびかゆうこ／訳 やく 借成社《Eバ》

「うわー、こんなおおきなほこ、みたことない！」クリスティーナは、れいぞうこのはいっていたほこで、すてきなおしろをつくりました。ところが、となりにすむファッツにこわされてしまいます。クリスティーナが、そのほこでつぎにつくったのはなんでしょう？



### ①『エーミルと小さなイーダ』

アストリッド・リンドグレーン／作 さく ビヨーン・ベリイ／絵 え  
さんぺいけいこ／訳 やく 岩波書店《AFリ》

エーミルはたいへんないたずらっこ。きょうも、出入口をあけたままにしてひつじをにがしてしまい、ぼつとしてさぎょうごやにとじこめられました。いもうとのイーダはそれがうらやましくて、じぶんもいたずらをしようとしています...



### ②『しおちゃんとこしょうちゃん』

ルース・エインズワース／さく さく こうもとさちこ／やく・え ふくいんかんしょてん 福音館書店《Eコ》

ふたごのこねこ、しおちゃんとこしょうちゃんはとってもなかよしです。あるひ、たかいきのてっぺんにのぼったにひきは、こわくておられなくなってしまいました。おおごえで、「ニャー！ニャー！ニャー！」となきました。だれもきづいてくれません。



## ⑥『くろねこのロク空をとぶ』

インガ・ムーア／作・絵 <sup>さく え</sup> なかがわちひろ／訳 <sup>やく とくましょてん</sup> 徳間書店《Fム》

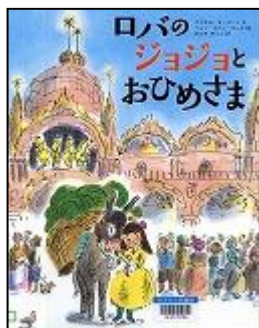
くろねこのロクは、六皿のごはんをぺろりとたべてしまうくいしんぼう。あるひ、かいぬしたちといなかにでかけたロクは、山ねこにごちそうのつかまえかたをおしえてもらいます。ところが、ロブスターに、てをはさまれて、さあたいへん！



## ⑦『ロバのジョジョとおひめさま』

マイケル・モーパーゴ／文 <sup>ぶん</sup> ヘレン・スティーヴンズ／絵 <sup>え</sup> おびかゆうこ／訳 <sup>やく とくましょてん</sup> 徳間書店《Eス》

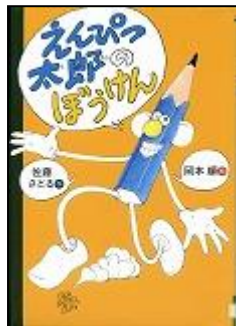
ロバのジョジョは、まいあさ、メロンをたくさんせおって町へうりにいきます。メロンうりのおじさんはいじわるだし、まちの人もうすよごれたジョジョをばかにします。そんなジョジョをうまれてはじめてなでてくれたのは、おひめさまでした。



## ⑧『えんぴつ太郎のぼうけん』

<sup>さとう</sup> 佐藤さとる／作 <sup>さく</sup> おかもとじゅん／絵 <sup>え</sup> すずきしゅつぱん 鈴木出版《A Fサ》

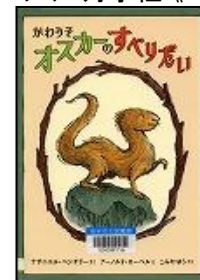
あやしい小人がまほうをかけると、えんぴつに手足と顔がついて、えんぴつ太郎がうごきました。えんぴつ太郎は、とだなのなかで、わすれられたこぶたのゆびにんぎょうとであいます。ぼうやにみつけてほしいとねがうこぶたのために、えんぴつ太郎は…。



## ⑨『かわうそオスカーのすべりだい』

ナサニエル・ベンチリー／さく <sup>さく</sup> アーノルド・ローベル／え <sup>え</sup> こみやゆう／やく <sup>こうがくしゃ</sup> 好学社《A Fベ》

かわうそそのオスカーは、どてにつくったすべりだいがだいすき。ところが、そのすべりだいがたおれた木でふさがれてしまいました。かわりに、やまのてっぺんからながーいすべりだいをつくりましたが、オスカーのうしろにきつねがしのびよってきて…。



## ⑩『おとうふ屋さん』

<sup>いいの</sup> 飯野まき／さく <sup>ふくいんかんしょてん</sup> 福音館書店《Eイ》

おとうふ、あぶらあげ、がんもどき。みーんなだいずからできてるってほんとう？おとうふづくりをみてみよう！

## ⑪『ふたごのゴリラ』

ふしはらのじこ／文・絵 <sup>ぶん え</sup> 福音館書店《Eフ》

マパとパサはふたごのゴリラ。あるひ、おいかけっこをしていると、いつのまにかみたこともないもりにまよいこんでしまいました。

## ⑫『これはのみのぴこ』

<sup>たにかわしゅん たろう</sup> 谷川俊太郎／作 <sup>さく</sup> わだまこと <sup>え</sup> 和田誠／絵  
サンリード《チャ》

「これはのみのぴこ。これはのみのぴこのすんでいるねこのごえもん…」文がだんだん長くなるよ。どこまでひといきでいえるかな？

## ⑬『だいくとおにろく』

<sup>まつ いただし</sup> 松居直／再話 <sup>さいわ</sup> あかほすえきち <sup>が</sup> 赤羽末吉／画  
<sup>ふくいんかんしょてん</sup> 福音館書店《M》

だいくは、ながれのはやい川に、はしをかけることになった。こまっているとおにが出てきて、はしをかけるかわりにめだまをくれという。

## ⑭『あわふきむし』

<sup>ふじまるあつお</sup> 藤丸篤夫／しゃしん <sup>ありさわしげお</sup> 有沢重雄／ぶん  
そうえん社《48》

木についたしろいあわ。だれかのつばじゃないよ。中には、あわふきむしのようちゅうがいるんだ。どうしてあわの中なかにいるのかな？

## ⑮『ハートのはっぱかたばみ』

<sup>ただたえこ</sup> 多田多恵子／ぶん <sup>ひろのたかこ</sup> 広野多珂子／え  
<sup>ふくいんかんしょてん</sup> 福音館書店《47》

かたばみをさがしてみよう。みつつのハートがあつまったはっぱだよ。じゅくしたみをつつくと、はじけてたねがとびだすんだ。